

規制影響分析書 補足説明

規制の名称	技能実習制度における技能実習生の保護等の規定の創設
主管部局・課室	入国管理局総務課参事官室
関係部局・課室	-
評価実施時期	平成27年3月
遵守費用に係る補足説明	遵守費用について、実習実施者や監理団体等が禁止行為に係る規定を遵守するためのマニュアル作成や研修の実施等の体制の整備に係る費用並びに技能実習生の転籍のあっせん及び要請等の連絡調整に要する費用が発生することが想定される。
費用と便益の関係の分析に係る補足説明	規制を導入することにより、実習実施者及び監理団体において規制を遵守するために必要となる費用及び規制の導入に当たっての行政費用が発生するものの、技能実習生に係る禁止行為規定を遵守させることで、現行の国内法令による保護のみにとどまらないより一層の保護を図ることができる。また、技能実習生による申告に基づき指導・助言や技能実習の継続支援を行うことで、技能実習生の保護を図る体制を確保することができるようになり、開発途上地域等への技能、技術又は知識の移転による国際協力の推進につながることから、規制の導入による便益は費用を上回るものと考えられる。
代替案との比較に係る補足説明	代替案の遵守費用について、実習実施者や監理団体等が禁止行為に係る規定を遵守するためのマニュアル作成や研修の実施等の体制の整備に係る費用並びに技能実習生の転籍のあっせん及び要請等の連絡調整に要する費用が発生することが想定される。 代替案を導入することにより、改正案とほぼ同項目の費用及び便益の発生が見込まれるが、便益面においては、技能実習生による申告に基づき指導・助言や技能実習の継続支援を行うことで、一定程度、技能実習生の保護を図る体制を確保することができるが、技能実習生に係る禁止行為規定の違反について、罰則により実効性を担保できないことから、十分な技能実習生の保護が図れず、ベースラインと比較して、技能実習を通じた技能等の確実な修得という便益が十分に発生しない可能性があり、代替案を導入することにより得られる便益は必ずしも費用を上回るとはいえないと考えられる。